

第50回記念新潟県高等学校選抜バドミントン大会
兼 第50回記念全国高等学校選抜バドミントン大会新潟県予選会 実施要項

- 1 主 催 新潟県バドミントン協会
- 2 共 催 新潟県高等学校体育連盟
- 3 後 援 五泉市
- 4 主 管 新潟県バドミントン協会選手強化委員会
新潟県高等学校体育連盟バドミントン専門部
- 5 主 管 校 新潟県立五泉高等学校
- 6 期 日 令和3年12月16日（木）～12月18日（土）
- 7 会 場 五泉市総合会館（五泉市旭町7-11）TEL（0250）42-5194
- 8 競技日程

第1日目	8時00分 開場・受付 8時45分 監督会議 9時00分 オーダー提出締め切り 9時15分 開会式 9時30分 競技開始 学校対抗戦決勝まで（2位決定戦を除く） 17時00分 競技終了（予定）
第2日目	8時00分 開場 8時30分 監督会議 8時45分 オーダー提出締め切り（2位決定戦がある場合のみ） 9時00分 競技開始 学校対抗戦2位決定戦、個人戦複決勝まで 17時00分 競技終了（予定）
第3日目	8時00分 開場 8時30分 監督会議 9時00分 競技開始 個人戦単決勝まで 17時00分 競技終了（予定）
- 9 競技種目 学校対抗戦および個人戦（単・複）
- 10 競技規則 令和3年度（公財）日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程・同公認審判員規程による。
- 11 使用器具 （公財）日本バドミントン協会検定・審査合格用器具および令和3年度第1種検定合格水鳥球を使用する。（ヨネックス ニューオフィシャル）
- 12 競技方法
 - （1）学校対抗戦・個人戦（単・複）ともトーナメント方式とし、ベスト4による2位決定戦を行う。
 - （2）学校対抗戦は2複3単とし、複1・複2・単1・単2・単3の順に行い、3点先取とする。ただし、単1は複を兼ねることはできない。
※チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5～7名とする。
（マネージャーは選手を兼ねられない。）
- 13 参加資格
 - （1）選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程）に在籍する生徒であること。
 - （2）生徒は、新潟県高等学校体育連盟に加盟している高等学校に在籍する生徒であること。
 - （3）選手は、各高等学校の教育計画に基づいて行う課外活動に位置づけられた運動部（当該種目）の部員であること。
 - （4）上記（3）に該当しない生徒を選手として参加させる場合は、会長の承認を必要とする。
 - （5）監督・コーチ・マネージャー・選手は、（公財）日本バドミントン協会並びに新潟県バドミントン協会に本年度の加盟登録をした者とする。
 - （6）選手は、平成14年（2002年）4月2日以降に生まれた者で、1・2年生に在学している者とする。ただし出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - （7）ア チーム編成において、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
イ 特例として、全日制課程が定時制課程に改組された場合は、改組後2年間に限り混成を認める。
 - （8）統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

- (9) 転校後6か月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、新潟県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (10) 選手は、予め健康診断を受け、在学する学校の校長の参加承認を必要とする。

(11) 参加資格の特例

- ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、大会参加資格を満たすと新潟県高等学校体育連盟会長が認める生徒について、別途定める規定に従い参加を認める。
- イ 上記(6)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場を同一競技2回限り認める。
- ウ 上記アの別途定める規定は、全国高等学校選抜バドミントン大会要項の【大会参加資格の別途に定める規定】に準ずる。

(12) 各地区予選を経て、代表権を得た者とする。

所定の出場枠に加え、個人戦には令和3年度新潟県高等学校総合体育大会個人戦(単・複)の上位3位の選手が所属する地区へそれぞれ1枠ずつ出場権が与えられる。

<今大会各地区代表校数・選手数>

	新潟地区	下越地区	中越地区	上越地区	佐渡地区
学校対抗戦	4校	3校	4校	3校	2校
男子複	7	5	5	4	3
男子単	5	7	5	4	3
女子複	7	5	5	4	3
女子単	6	6	5	4	3

※参加者の安全を確保するため、主催者が定めた感染防止の措置を遵守できない参加者は、大会前・大会中に関わらず参加資格を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

14 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、新潟県高等学校体育連盟会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ保険等)に必ず加入することを条件とする。

※但し、公立高等学校は引率・監督がこの基準により限定された範囲内であれば、新潟県または新潟市の規定に従うことを原則とする。

15 申込方法

- (1) 新潟県高体連バドミントン専門部 HP の“大会申込書”をクリックして大会参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、参加料を添えて現金書留で下記宛に郵送すること。
- 〒959-1861 五泉市栗島1-23
新潟県立五泉高等学校 小嶋 美保 宛
TEL (0250) 43-3314
FAX (0250) 43-7891
- (2) 主管校の作業簡略化のため、大会参加申込書は下記アドレスにメールでも申し込むこと。メールの件名は「県選抜大会申込」とし、添付する大会申込書のファイル名は「〇〇高校男子」あるいは「〇〇高校女子」とすること。

新潟県立五泉高等学校 小嶋 美保 宛
e-mail: kojima.miho@nein.ed.jp

(3) 申込締切 **令和3年11月25日(木) 正午必着**

16 大会参加料

学校対抗戦1チーム9,000円、個人戦1人1種目1,200円

17 表 彰

学校対抗戦・個人戦とも第3位まで表彰する。

18 宿 泊

特に斡旋しないが、必要があれば各校で宿泊申込書にて、旅館組合に申し込むこと。

(1) 申込締切 **令和3年11月25日(木) 正午必着**

(2) 連絡先(申込先) 〒959-1615 五泉市佐取7209番地

咲花温泉旅館協同組合 一水荘

TEL (0250) 47-2231

- 19 北信越予選会 学校対抗戦1位・2位および個人戦（単・複）1位～3位は、令和4年1月21日（金）～23日（日）に新潟県で開催される第50回全国高等学校選抜バドミントン大会北信越予選会に出場できる。
- 20 組み合わせ 新潟県バドミントン協会選手強化委員会並びに新潟県高体連バドミントン専門部常任委員会で行う。
[令和3年12月6日（月）午前10時 新潟青陵高等学校で開催]
- 21 服 装 （1）競技時の服装は、色付き着衣を使用する場合及びシューズは（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。
（2）上衣の背面中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。目立たない場合には、ゼッケンをつけてもらう場合もある。ウェアの表示については、一部（公財）全国高体連バドミントン専門部独自の申し合わせ事項を加える。文字の大きさについては（公財）日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。
【上段：学校名（やや大きく）、下段：都道府県名】ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする。（ゼッケンの場合の文字の色は、黒い色または濃紺色とする。）

30cm程度		
6～10cm	学 校 名	20cm程度
6～10cm	都道府県名	

- 22 そ の 他 （1）大会参加に際して提供される個人情報は大大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
（2）個人氏名並びに加盟団体名・入賞者写真については、大会結果等も含め協会ホームページに公開します。また、報道・メディア等の求めに応じて競技会場内での取材・写真撮影を認め、大会結果を提供します。
（3）大会に参加する生徒は必ず引率責任者が引率し、参加生徒全ての行動に責任を負うものとします。
（4）大会に参加する生徒の競技中における疾病、傷害等の応急処置は主催者で行いますが、その後の責任は負いません。（医療機関への経費は個人負担になります。）
救急病院：五泉中央病院 五泉市太田489番地1
TEL（0250）47-8150

★ 感染拡大防止策について

※選手（マネージャーを含む）・引率顧問・大会役員・補助役員 対象

- 参加資格 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
 - ア 体調が優れない。（例：発熱・咳・倦怠感などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限がなされ入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。
- マスクの着用 競技を行っていないとき、会話をするときにはマスクを着用する。
- 手洗い、アルコール等による手指消毒等による感染予防をする。
- 他の参加者、大会関係者との距離の確保すること。（できるだけ2m以上）
- 大きな声での応援（声援）や会話を禁止する。
- 参加者把握のため、氏名・連絡先等の個人情報取得及び管理について。
 - ア 「参加者一覧」・参加者の「大会当日チェックシート」（様式2）は引率者が毎日提出する。
 - イ 「体温・体調記録票」（様式3）は各顧問が保管（1ヶ月）し、必要が生じた場合は提出をする。